

東京工業高等専門学校（専攻科課程）における3つの教育方針 （アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）

本専攻科の学習・教育目標は、次の(A)～(D)に示された国際化・複合化に対応できるものづくり技術者の育成です。

- (A) 技術と地球環境保全との関係を理解し、技術者に求められる危機・安全に関する倫理観と的確な行動規範を身につけた技術者
- (B) 日本語および英語によるコミュニケーション能力を身につけ、国際的に活躍しうる素養を持った技術者
- (C) 基礎学力の上に、実践力、創造力、研究開発能力を身につけた技術者
- (D) 生涯にわたる自己啓発能力や健康管理能力および社会の変化に的確に対応できる柔軟性を身につけた技術者

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

本専攻科では、学習・教育目標の国際化・複合化に対応できる技術者を育成することを目標に、次のような入学者を求めます。

- (1) 工学の基礎を修得し、実践力、創造力、研究開発力の素養を有している人
- (2) さまざまな課題に主体的に取り組む意欲のある人
- (3) 自己表現や他者理解などを積極的に図ることができる人

◇入学者選抜の基本方針

- (1) 推薦による選抜

出身高等専門学校長から推薦された志願者のうち、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意志が強い志願者を選抜する。

- (2) 学力による選抜

一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有する志願者を選抜する。

- (3) 社会人特別入試

企業などにおいて一定以上の在職期間を有し、一定水準以上の基礎学力を身につけ、かつ主体的・継続的な学習意欲とコミュニケーション能力を有し、本専攻科への入学意志が強い志願者を選抜する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成および実施に関する方針）

東京高専専攻科では、ディプロマ・ポリシーに定めた能力を育成するために、専攻科1年の後期にPBL等の主体的活動を行うための科目を配置し、社会実装活動、長期インターンシップ（共同研究型、海外研修型）、ならびに創造的な研究活動の3つの活動を学生が自ら組み合わせて、自身に最適化した活動を行うことにより主体的に考え協調的に行動する能力を高められるようにします。また、この活動の前に学ぶべき科目を専攻科1年の前期に配置し、活動後に学ぶ方がより効果的な

科目を専攻科2年に配置して、環境保全への高い意識と社会的倫理観を持ち、異文化を理解する力とコミュニケーション力を兼ね備え、総合的視野に立って実社会に役立つ価値を創出できるグローバル技術者の育成を行います。具体的には、次のような編成方針、実施方針および成績評価基準に基づいて教育を実施します。

● 編成方針

専攻科1年後期のPBL等の主体的活動および特別研究を重視し、本科の科目と連携した科目や、リベラルアーツ科目を効果的に配置した教育課程を編成します。

- (1) 持続可能な社会の実現に向けて、技術者に求められる倫理観と行動規範を理解し、生涯にわたって自己啓発・管理できる能力を涵養するための科目として、専攻科1年の前期に、持続可能な社会の実現に向けての目標を学ぶ科目を配置し、持続可能な社会において技術者の求められる倫理観や行動規範を学生自らが考える科目を専攻科2年の後期に配置します。
- (2) 持続可能な社会の実現に向けて、科学技術が環境に与える影響を常に意識し、修得した専門知識および技術を自ら複合・融合的に応用して社会に実装する能力を涵養するために、専攻科1年の後期にPBL等の主体的活動を行うための科目を配置し、この期間の活動をした後に、持続可能な社会の実現に向けて技術者としてどのように取り組むべきかを地球環境的な側面から考える科目を専攻科2年の前期に配置します。
- (3) 基礎的な知識および実験スキルに加えて、創造力、企画力を身につけ、PDCAサイクルをまわして研究開発を推進できる能力を涵養するために、理科系の専門共通科目や各専攻の専門科目に加えて、東京工業大学大学院教員によるオムニバス形式の「先端理工学研究特論Ⅰ・Ⅱ」を専攻科1年の前期に配置し、最先端の研究の解説、研究のデザインの手法、研究における試行錯誤、ブレイクスルー、研究をする上での心構えや考え方、研究者になるまでのキャリアデザイン等を学べるようにします。また、専攻科1年後期の主体的活動の経験を専攻科2年の特別研究で活かせるようにするとともに、経営や起業について考えることにより総合的な創造力や企画力を涵養することを目的とした科目を専攻科2年の後期に配置します。
- (4) 異なる文化や社会を理解する柔軟性を持ち、言語の異なる他者とも協力して問題解決に邁進できる能力を涵養するために、文化の異なる海外での活動経験を持つ教員が担当する科目と、実践的英語科目を専攻科1年の前期に配置し、専攻科1年の後期における海外での活動にも対応できるようにします。

● 実施方針

- (1) 個々の学生に最適な学びを提供するために、専攻科1年の後期をPBL等の主体的活動の期間とします。この期間には集中講義科目である「インテンシブキャリアデザイン」と、実験科目である「イノベーティブリサーチプロジェクト」を配置し、学生は、まず「インテンシブキャリアデザイン」の前半で、社会実装、国内外における長期インターンシップ(共同研究型、海外研修型)、創造的な研究、という3つの活動の組み合わせ方について、提示された取り組みモデルを参考にして学び、専攻横断的に配置されたメンター教員グループの支援を受けながら、自身の個性や関心に応じて「イノベーティブリサーチプロジェクト」の実施計画書を作成します。次にこの実施計画書に従って活動を行い、「インテンシブキャリアデザイン」の後半で実施される発表会で幅広く講評を受け、活動の振り返りを行います。
- (2) ディプロマ・ポリシーに定めた能力が、教育課程の中でどのように養成されるかを具体的に

示すために、各科目のシラバスにディプロマ・ポリシーのどの項目が当該科目で達成されるのかを明記し、それらを修得する方法についても学生が理解しやすいように記述します。また、持続可能な社会の実現に向けて活動する能力が教育課程の中でどのように養成されるかを具体的に示すために、各科目のシラバスに SDGs の 17 の目標のうちどの目標が当該科目で達成されるのかを明記し、それらを修得する方法についても学生が理解しやすいように記述します。

- (3) 成績評価は、公正かつ透明性を確保するため、各科目のシラバスに掲げられた授業の到達目標に対する達成度にしたがって採点し、評価の客観性を担保するため、科目の特性に応じて、試験、レポート、成果物、およびプレゼンテーション等により成績評価を行います。

● 成績評価基準

本校では、次のような成績評価基準を定めています。科目の特性に応じて、試験、レポート、成果物、およびプレゼンテーション等により、それぞれ身につけるべき能力の修得度を客観的に評価します。

成績はシラバスに示す評価方法に基づき 100 点法により採点し、成績評価は以下の優・良・可・不可の 4 段階とします。ただし、「特別研究」、「インテンシブキャリアデザイン」および「イノベティブリサーチプロジェクト」にあっては「合」又は「否」を判定します。

- 優 優れた成績 (100~80 点)
- 良 良好な成績 (79~70 点)
- 可 合格と認められる成績 (69~60 点)
- 不可 合格と認められない成績 (59~ 0 点)

ディプロマ・ポリシー (修了の認定に関する方針)

本専攻科は、工学およびその融合領域において、学生が自ら考え行動する力と科学技術を社会に実装する力を育む教育研究活動を通して、環境保全への高い意識と社会的倫理観を持ち、異文化を理解する力とコミュニケーション力を兼ね備え、総合的視野に立って実社会に役立つ価値を創出できるグローバル技術者の育成を目指しています。

本専攻科では、以下に示す能力を身につけ、学則で定める修業年限以上在学し、所定の単位を修得した学生に対して修了を認定します。

- (1) 持続可能な社会の実現に向けて、技術者に求められる倫理観と行動規範を理解し、生涯にわたって自己啓発・管理できる能力
- (2) 持続可能な社会の実現に向けて、科学技術が環境に与える影響を常に意識し、自ら修得した専門知識および技術を複合・融合的に応用して社会に実装する能力
- (3) 基礎的な知識および実験スキルに加えて、創造力、企画力に富み、PDCA サイクルをまわして研究開発を推進できる能力
- (4) 異なる文化や社会を理解する柔軟性を持ち、言語の異なる他者とも協力して問題解決に邁進できる能力

種別	区分	授業科目	開設 単位数	必修・選択 の別	学年別配当単位数		開講 時期
					1年	2年	
一般科目	講義	* English Skills for the Workplace	2	必修	2		前期
	講義	* Technical Writing	2	必修	2		前期
	講義	文章表現論	2	選択		2	後期
	講義	Academic Presentation	2	選択		2	前期
	一般科目 計			8		4	4
専門共通科目	講義	SDGs概論	2	必修	2		前期
	講義	エンジニアのための人文科学	2	必修	2		前期
	講義	* 先端理工学研究特論Ⅰ	2	選択	2		前期
	講義	* 先端理工学研究特論Ⅱ	2	選択	2		前期
	講義	環境工学特論	2	必修		2	前期
	講義	技術者倫理	2	必修		2	後期
	講義	ベンチャー起業論	2	選択		2	後期
	講義	線形空間論	2	選択	2		前期
	講義	応用数理学	2	選択	2		前期
	講義	環境物理学	2	選択	2		前期
	講義	量子から見た世界	2	選択	2		前期
	講義	現代物理実験学	2	選択	2		前期
	講義	高度ソフトウェア開発工学	2	選択	2		通年
	講義	人工知能	2	選択		2	前期
専門共通科目 計			28		20	8	
専門科目	講義	計算機アーキテクチャ	2	選択	2		前期
	講義	システム制御	2	選択	2		前期
	講義	材料の力学特論	2	選択	2		前期
	講義	機械力学特論	2	選択	2		前期
	講義	熱工学特論	2	選択	2		前期
	講義	組み込み開発特論	2	選択	2		前期
	講義	信号処理特論	2	選択		2	前期
	講義	情報理論特論	2	選択		2	前期
	講義	ロボティクス	2	選択		2	前期
	講義	移動現象論	2	選択		2	前期
	講義	先端加工工学特論	2	選択		2	前期
	講義	知能情報工学特論	2	選択	2		前期
	講義	精密設計工学特論	2	選択		2	後期
	講義	インテンシブキャリアデザイン	10	必修	10		後期
	実験	イノベティブリサーチプロジェクト	8	必修	8		後期
	実習	* 専攻科特別実習	3	必修	3		前期
	実験	機械情報システム工学特別研究	12	必修		12	通年
	専門科目 計			59		35	24
一般科目、専門共通科目、専門科目、合計			95		59	36	
修得67単位以上(必修45単位、選択22単位以上)							

* English Skills for the Workplaceは2クラス開講で、能力別クラス編成の必修科目である。

* Technical Writingは2クラス開講で、能力別クラス編成の必修科目である。

* 専攻科特別実習は原則夏季休業期間中に開講する必修科目である。

* 先端理工学研究特論Ⅰ・Ⅱは隔年開講科目である。

種別	区分	授業科目	開設 単位数	必修・選択 の別	学年別配当単位数		開講 時期
					1年	2年	
一般科目	講義	* English Skills for the Workplace	2	必修	2		前期
	講義	* Technical Writing	2	必修	2		前期
	講義	文章表現論	2	選択		2	後期
	講義	Academic Presentation	2	選択		2	前期
	一般科目 計			8		4	4
専門共通科目	講義	SDGs概論	2	必修	2		前期
	講義	エンジニアのための人文科学	2	必修	2		前期
	講義	* 先端理工学研究特論Ⅰ	2	選択	2		前期
	講義	* 先端理工学研究特論Ⅱ	2	選択	2		前期
	講義	環境工学特論	2	必修		2	前期
	講義	技術者倫理	2	必修		2	後期
	講義	ベンチャー起業論	2	選択		2	後期
	講義	線形空間論	2	選択	2		前期
	講義	応用数理学	2	選択	2		前期
	講義	環境物理学	2	選択	2		前期
	講義	量子からみた世界	2	選択	2		前期
	講義	現代物理実験学	2	選択	2		前期
	講義	高度ソフトウェア開発工学	2	選択	2		通年
	講義	人工知能	2	選択		2	前期
専門共通科目 計			28		20	8	
専門科目	講義	通信工学特論	2	選択	2		前期
	講義	制御工学特論	2	選択	2		前期
	講義	電子物性特論	2	選択	2		前期
	講義	コンピュータ・ビジョン	2	選択	2		前期
	講義	計算機工学特論	2	選択	2		前期
	講義	電気機器工学特論	2	選択		2	前期
	講義	電子デバイス特論	2	選択		2	前期
	講義	生体医用工学概論	2	選択		2	前期
	講義	電力エネルギー工学特論	2	選択		2	後期
	講義	インテンシブキャリアデザイン	10	必修	10		後期
	実験	イノベティブリサーチプロジェクト	8	必修	8		後期
	実習	* 専攻科特別実習	3	必修	3		前期
	実験	電気電子工学特別研究	12	必修		12	通年
	専門科目 計			51		31	20
一般科目、専門共通科目、専門科目、合計			87		55	32	
修得67単位以上(必修45単位、選択22単位以上)							

* English Skills for the Workplaceは2クラス開講で、能力別クラス編成の必修科目である。

* Technical Writingは2クラス開講で、能力別クラス編成の必修科目である。

* 専攻科特別実習は原則夏季休業期間中に開講する必修科目である。

* 先端理工学研究特論Ⅰ・Ⅱは隔年開講科目である。

種別	区分	授業科目	開設 単位数	必修・選択 の別	学年別配当単位数		開講 時期
					1年	2年	
一般科目	講義	* English Skills for the Workplace	2	必修	2		前期
	講義	* Technical Writing	2	必修	2		前期
	講義	文章表現論	2	選択		2	後期
	講義	Academic Presentation	2	選択		2	前期
	一般科目 計			8		4	4
専門共通科目	講義	SDGs概論	2	必修	2		前期
	講義	エンジニアのための人文科学	2	必修	2		前期
	講義	* 先端理工学研究特論Ⅰ	2	選択	2		前期
	講義	* 先端理工学研究特論Ⅱ	2	選択	2		前期
	講義	環境工学特論	2	必修		2	前期
	講義	技術者倫理	2	必修		2	後期
	講義	ベンチャー起業論	2	選択		2	後期
	講義	線形空間論	2	選択	2		前期
	講義	応用数理学	2	選択	2		前期
	講義	環境物理学	2	選択	2		前期
	講義	量子からみた世界	2	選択	2		前期
	講義	現代物理実験学	2	選択	2		前期
	講義	高度ソフトウェア開発工学	2	選択	2		通年
	講義	人工知能	2	選択		2	前期
専門共通科目 計			28		20	8	
専門科目	講義	物理化学特論	2	選択	2		前期
	講義	有機合成化学	2	選択	2		前期
	講義	工業分析化学	2	選択	2		前期
	講義	物性化学	2	選択	2		前期
	講義	無機化学特論	2	選択		2	前期
	講義	機能性材料	2	選択		2	前期
	講義	生物化学工学	2	選択		2	後期
	講義	機器分析	2	必修		2	後期
	講義	化学工学特論	2	必修		2	後期
	講義	インテンシブキャリアデザイン	10	必修	10		後期
	実験	イノベティブリサーチプロジェクト	8	必修	8		後期
	実習	* 専攻科特別実習	3	必修	3		前期
	実験	物質工学特別研究	12	必修		12	通年
	専門科目 計			51		29	22
一般科目、専門共通科目、専門科目、合計			87		53	34	
修得67単位以上(必修49単位、選択18単位以上)							

* English Skills for the Workplaceは2クラス開講で、能力別クラス編成の必修科目である。

* Technical Writingは2クラス開講で、能力別クラス編成の必修科目である。

* 専攻科特別実習は原則夏季休業期間中に開講する必修科目である。

* 先端理工学研究特論Ⅰ・Ⅱは隔年開講科目である。

種別	区分	授業科目	開設 単位数	必修・選択 の別	学年別配当単位数		開講 時期
					1年	2年	
一般科目	演習	英語演習Ⅰ	2	必修	2		通年
	演習	英語演習Ⅱ	2	必修	2		通年
	講義	技術者倫理	2	必修	2		前期
	講義	文章表現論	2	選択	2		後期
	講義	日本文化論	2	選択		2	後期
	講義	現代哲学	2	選択		2	後期
	講義	科学技術論	2	選択		2	後期
	講義	中小企業・ベンチャー論	2	選択		2	前期
	講義	英語特講	2	選択		2	前期
一般科目 計			18		8	10	
専門共通科目	講義	線形空間論	2	選択	2		前期
	講義	応用数理学	2	選択	2		前期
	講義	実験物理	2	選択	2		前期
	講義	半導体工学特論	2	選択	2		前期
	講義	計算機工学特論	2	選択	2		前期
	講義	原子核物理	2	選択	2		後期
	講義	応用解析学	2	選択	2		後期
	講義	人工知能	2	選択		2	前期
	講義	物性物理	2	選択	2		後期
	講義	化学特論	2	選択	2		後期
	講義	ユニバーサルデザイン	2	選択	2		後期
	講義	センサー工学	2	選択		2	前期
	講義	応用数理学Ⅱ	2	選択		2	前期
	講義	環境工学特論	2	選択		2	前期
	講義	* 先端理工学研究特論Ⅰ	2	選択	2		前期
	講義	* 先端理工学研究特論Ⅱ	2	選択		2	後期
	講義	高度ソフトウェア開発工学	2	選択		2	通年
	専門共通科目 計			34		22	12
専門科目	講義	システム制御	2	選択	2		後期
	講義	トライボロジー	2	選択	2		後期
	講義	精密機械・計測工学特論	2	選択	2		前期
	講義	材料強弱学	2	選択	2		後期
	講義	成形加工学	2	選択	2		前期
	講義	適応信号処理特論	2	選択	2		後期
	講義	組み込み開発特論	2	選択	2		前期
	講義	精密・微細加工学	2	選択		2	前期
	講義	ロボティクス	2	選択		2	前期
	講義	熱工学特論	2	選択		2	前期
	講義	流体力学特論	2	選択		2	前期
	講義	機械設計工学特論	2	選択	2		前期
	講義	情報理論特論	2	選択		2	後期
	講義	知能情報工学特論	2	選択	2		後期
	講義	情報通信工学特論	2	選択		2	前期
	講義	計算機アーキテクチャ	2	選択	2		前期
	実験	機械情報システム工学特別実験	2	必修	2		後期
	演習	機械情報システム工学特別演習	2	必修	2		通年
	実習	機械情報システム工学特別実習	2	選択	2		前期
	実験	機械情報システム工学特別研究Ⅰ	4	必修	4		通年
実験	機械情報システム工学特別研究Ⅱ	12	必修		12	通年	
専門科目 計			54		30	24	
一般科目、専門共通科目、専門科目、合計			106		60	46	
修得62単位以上(必修28単位、選択34単位以上)							

* 先端理工学研究特論Ⅰ・Ⅱは隔年開講科目である。1学年及び2学年に同時開講される科目である。

種別	区分	授業科目	開設 単位数	必修・選択 の別	学年別配当単位数		開講 時期
					1年	2年	
一般科目	演習	英語演習Ⅰ	2	必修	2		通年
	演習	英語演習Ⅱ	2	必修	2		通年
	講義	技術者倫理	2	必修	2		前期
	講義	文章表現論	2	選択	2		後期
	講義	日本文化論	2	選択		2	後期
	講義	現代哲学	2	選択		2	後期
	講義	科学技術論	2	選択		2	後期
	講義	中小企業・ベンチャー論	2	選択		2	前期
	講義	英語特講	2	選択		2	前期
一般科目 計			18		8	10	
専門共通科目	講義	線形空間論	2	選択	2		前期
	講義	応用数理学	2	選択	2		前期
	講義	実験物理	2	選択	2		前期
	講義	半導体工学特論	2	選択	2		前期
	講義	計算機工学特論	2	選択	2		前期
	講義	原子核物理	2	選択	2		後期
	講義	応用解析学	2	選択	2		後期
	講義	人工知能	2	選択		2	前期
	講義	物性物理	2	選択	2		後期
	講義	化学特論	2	選択	2		後期
	講義	ユニバーサルデザイン	2	選択	2		後期
	講義	センサー工学	2	選択		2	前期
	講義	応用数理学Ⅱ	2	選択		2	前期
	講義	環境工学特論	2	選択		2	前期
	講義	* 先端理工学研究特論Ⅰ	2	選択	2		前期
	講義	* 先端理工学研究特論Ⅱ	2	選択		2	後期
	講義	高度ソフトウェア開発工学	2	選択		2	通年
専門共通科目 計			34		22	12	
専門科目	講義	制御工学特論	2	選択	2		前期
	講義	基礎光物性	2	選択	2		前期
	講義	電子材料プロセス工学	2	選択	2		後期
	講義	集積回路設計	2	選択	2		前期
	講義	応用電磁波工学	2	選択	2		後期
	講義	応用情報処理工学	2	選択	2		前期
	講義	素材評価法	2	選択	2		前期
	講義	エネルギーシステム工学	2	選択		2	後期
	講義	信号処理特論	2	選択		2	前期
	講義	プラズマ工学	2	選択		2	前期
	講義	通信伝送工学	2	選択		2	前期
	講義	電磁エネルギー変換特論	2	選択		2	前期
	講義	回路網学特論	2	選択	2		後期
	講義	生体医用工学概論	2	選択		2	前期
	実験	電気電子工学特別実験	2	必修	2		後期
	演習	電気電子工学特別演習	2	必修	2		通年
	実習	電気電子工学特別実習	2	選択	2		前期
	実験	電気電子工学特別研究Ⅰ	4	必修	4		通年
	実験	電気電子工学特別研究Ⅱ	12	必修		12	通年
専門科目 計			50		26	24	
一般科目、専門共通科目、専門科目、合計			102		56	46	
修得62単位以上(必修28単位、選択34単位以上)							

* 先端理工学研究特論Ⅰ・Ⅱは隔年開講科目である。1学年及び2学年に同時開講される科目である。

種別	区分	授業科目	開設 単位数	必修・選択 の別	学年別配当単位数		開講 時期
					1年	2年	
一般科目	演習	英語演習Ⅰ	2	必修	2		通年
	演習	英語演習Ⅱ	2	必修	2		通年
	講義	技術者倫理	2	必修	2		前期
	講義	文章表現論	2	選択	2		後期
	講義	日本文化論	2	選択		2	後期
	講義	現代哲学	2	選択		2	後期
	講義	科学技術論	2	選択		2	後期
	講義	中小企業・ベンチャー論	2	選択		2	前期
	講義	英語特講	2	選択		2	前期
	一般科目 計		18		8	10	
専門共通科目	講義	線形空間論	2	選択	2		前期
	講義	応用数理学	2	選択	2		前期
	講義	実験物理	2	選択	2		前期
	講義	半導体工学特論	2	選択	2		前期
	講義	計算機工学特論	2	選択	2		前期
	講義	原子核物理	2	選択	2		後期
	講義	応用解析学	2	選択	2		後期
	講義	人工知能	2	選択		2	前期
	講義	物性物理	2	選択	2		後期
	講義	化学特論	2	選択	2		後期
	講義	ユニバーサルデザイン	2	選択	2		後期
	講義	センサー工学	2	選択		2	前期
	講義	応用数理学Ⅱ	2	選択		2	前期
	講義	環境工学特論	2	選択		2	前期
	講義	* 先端理工学研究特論Ⅰ	2	選択	2		前期
	講義	* 先端理工学研究特論Ⅱ	2	選択		2	前期
講義	高度ソフトウェア開発工学	2	選択		2	通年	
	専門共通科目 計		34		22	12	
専門科目	講義	構造有機化学	2	選択	2		前期
	講義	物理化学特論	2	選択	2		前期
	講義	工業分析化学	2	選択	2		前期
	講義	基礎材料科学	2	選択	2		前期
	講義	固体物性学	2	選択	2		後期
	講義	資源エネルギー化学	2	選択	2		後期
	講義	分離工学	2	選択	2		後期
	講義	生物物理化学	2	選択	2		後期
	講義	移動速度論	2	選択	2		後期
	講義	材料化学特論	2	選択		2	後期
	講義	生物化学工学	2	選択		2	後期
	講義	無機固体化学	2	選択		2	前期
	実験	物質工学特別実験	2	必修	2		後期
	演習	物質工学特別演習	2	必修	2		通年
	実習	物質工学特別実習	2	選択	2		前期
	実験	物質工学特別研究Ⅰ	4	必修	4		通年
実験	物質工学特別研究Ⅱ	12	必修		12	通年	
	専門科目 計		46		28	18	
一般科目、専門共通科目、専門科目、合計			98		58	40	
修得62単位以上(必修28単位、選択34単位以上)							

* 先端理工学研究特論Ⅰ・Ⅱは隔年開講科目である。1学年及び2学年に同時開講される科目である。